

県北支部 第31回定時総会 採択議案

第1号議案 2024年度(第30期)の活動を振り返って

■「例会づくり活動」を振り返って

当初は6回の開催予定でしたが、青全交の開催が宮崎県ということもあり、プレ報告例会として2回を開催し合計8回の開催となりました。

5月の総会&例会では代表幹事の税田氏、塩谷氏、中山氏3名のリレー報告を実施しました。3人の報告とも「学びと実践」を強調した例会となり、今年度の方針に対する思いを感じてもらえた例会になりました。

7月は、京都同友会の(株)ワタナベ美装 渡邊真規氏を迎え「多様な社員の可能性を戦力化」をテーマに人を生かす経営の実践報告を実施しました。ダイバーシティからインクルージョン経営の具体的な取り組みを聞くことができ、昨今の人手不足に負けない企業づくりと地域づくりの体験報告を学ぶことができました。

8月は青全交in宮崎開催に向けた県北支部担当の二つの分科会のプレ報告例会として開催しました。一つ目は16分科会・鹿児島同友会の(株)西郷組 西郷進平氏を迎え「原因自分論の実践で100年企業へ」をテーマに実施しました。「原因自分論」の報告で自分自身のあり方を見つめなおす参加者が多数あり、一人ひとりが自己責任を持ち問題に対して積極的に改善策を提案・実行する組織のあり方を見直す例会となりました。二つ目は福岡同友会大牟田支部の大牟田ビンテージのまち(株)富山博史氏を迎え、「次世代に紡ぐ街づくり・人づくり」をテーマに報告を聞くことができました。富山氏が取り組まれている事業がヒントになったとの声や、本気の取り組み、熱い思いがとても伝わった例会となりました。

どちらの例会も、青全交本番で室長を担当する会員が中心となって、事前に報告者の会社を訪問する等して、他県会員との交流を深める機会にもなりました。

10月は、県北支部会員(有)ツネザワ薬品 経澤充氏の報告。300年続く配置薬販売業というビジネスモデルが、将来にわたり通用するのかという事例報告でした。科学的な根拠や予測を考慮したうえで、配置薬販売業は自信をもって発展させていくことのできる事業ということが分かり、参加者の経営にもおきかえて事業発展のヒントを考える例会となりました。

11月は京都同友会山科支部との合同例会として、京都会場からオンライン中継で延岡サテライト会場として例会を開催

しました。(一社)Solacoの三王子慎太郎氏(京都同友会)、(株)アドバンス北陸サービスの杉本健一氏(石川同友会)、(株)グローバル・クリーンの税田和久氏(宮崎同友会)の3名によるパネルディスカッション形式で「自社の課題解決×地域とのつながり Win×Winへの挑戦」をテーマに開催しました。3社それぞれの発表が、地域とどうかかわりあっていくかをいろいろな視点で学ぶことができる例会となりました。

1月は、県北支部会員の(株)伊藤冷熱工業の伊藤康弘氏による「事業継承あるある事件簿」をテーマにした例会。事業承継における意気込みや、考え方の違いからのすれ違い、承継側と継承側や取り巻く社員、顧客による課題の違いなどリアルな話を聞くことができました例会となりました。社員との関わりなどに悩まれている方、2代目の方に対する経営のヒントが得られる例会となったと感じました。参加者数は37名で今期最多。支部会員の参加率は39.0%と目標の40%にあと1ポイントと迫りました。

つづく3月は「経営計画の重要性」というテーマでNPO法人あつたかほ一む愛あい代表の横山美智子氏の報告でした。慢性的な人手不足の中、未来のあるべき姿から逆算して行動計画を立てるバックキャストの考え方から事業所のあるべき姿や社員との関わり合いに関する報告を聞くことができ、経営者として未来を見据えながら考えていなければならぬことなどの具体的なことを学びあいました。昨年に続いて昼の時間帯での例会開催でしたが、ゲスト9名を含む33名が参加。昼例会の開催についての手ごたえを感じるものとなりました。

1月例会と3月例会は、座長、室長ともにはじめて例会づくりに携わる会員による例会。担当幹事のサポートのもと、開催3か月前の幹事会でのテーマや報告者の提案からはじまり、会員を巻き込んでの報告者との打ち合わせが綿密に行われ、会員数の少ない県北支部ではありますが、例会をつくる段階から会員を巻き込んでいくスタイルが見えてきました。

計8回の例会で、テーマはそれぞれの分野などで幅広く実施することができました。例会の支部会員の平均参加率は34.1%で、前期より0.8ポイント増加しましたが、目標とした40%には届きませんでした。

基本となる例会に会員がいかに参加してくれるかが、退会率減少の大きな要点となると思われます。早めに例会のつくりこみを実施し、追い込み時期では参加募集にも時間を割いて例会を実施するとよいかと思われます。早めのつくりこみを実施して、会員の参加率向上に努めていくよう次年度は対策をしていきたいと思っております。同友会の仲間を増やす活動と共に、辞めない県北支部をめざすために

- イ) 自主的に参加する会員が50%を超える。
 - ロ) 参加した方が良い例会だったと思える
 - ハ) 参加できなかった会員が「参加すればよかった……」と思える例会にする。
- この方向性を続けていきましょう。

■「強くなる」：企業づくり活動を振り返って

①経営指針成文化と実践、そして交流の充実

今年度も県北支部独自の経営指針作成勉強会の「柳会」を開催しました。

オリエンテーションを含めると全10回の開催で、昨年度と同様それぞれの回を参加者の会社で持ち回りにより実施しました。

今回も「経営指針成文化と実践の手引き」を教本とし、解説、指針作成を行いました。オブザーバーの方も何人も参加され、入会につながると共に、参加された方はとても学びのある会として評価され大きな一歩となった方もいらっしゃいました。

地域のリーダーシップとして、どんな環境変化にも対応できるしなやかな強さを持った会社づくり、人を生かす経営を実践していくという目的で、次年度以降も会員に積極的に参加呼びかけを行い、経営指針成文化をめざしていきます。

また県で実施の「経営指針をつくる会」には、理念編を1名、方針・計画編を2名が受講し、3名がサポーターとしてその運営にかかわりました。

四半期ごとの景況調査においては平均37.2%で前期(37.9%)よりも0.7ポイントおちてしまいました。回答率の減少は2年連続です。

4～6月期	21件	36.2%	7～9月期	22件	37.9%
10～12月期	22件	38.6%	1～3月期	21件	36.2%

県北支部では会員の50%を目標としています。景況調査には

- I、自社の方向性を決定の情勢分析を定期的に行うための手段（よい経営者になる）、
- II、地域経済と自社との経済的・社会的なかわり考える手段（よい会社を作る）、
- III、地域の置ける経営環境の改善を進めるための手段（よい経営環境を作る）

といった役割があります。回答率を向上させるために何が必要かを今一度検討し、来年度も50%以上の回答率をめざしていきます。

②地域に若者を残す活動の推進

今年度は小中高生の職場体験やインターンシップの受け入れを積極的に進めていく方向性でした。個別の企業では実施してはいましたが、県北支部としての取り組みができませんでした。この取り組みは地域に若者を残す活動として、地元にある企業を知ってもらうという取り組みに

貢献すると考えらえるのでそのあり方を来年度は検討し、実施に向けた取り組み方法を考えていきます。

また6月20日には日向市のひまわり支援学校の見学会と意見交換会を開催しました（9名参加）。参加者は障害者雇用に関する考え方が全く変わり、どのようなサポート体制があるのか、実習受け入れの流れや企業に合わせたスケジュールなど企業側と学校側の要望等の意見交換ができました。

また今年度も「財務勉強会」を11月の土曜日に1日かけて開催しました。参加者も他支部からの参加や社員さんを含む12名が参加。I Gブレーン宮崎(株)の直野氏を講師に財務の基本から学び、自身の会社を数字から見て分析していく視点を学びました。1日で深く学ぶ勉強会は初めての試みでした。振り返りでは「平日開催の方が社員も参加できるのではないか」という意見もありました。来期は平日開催も視野に入れ、「財務勉強会」とともに、今年度できなかった「労務学習会」を再度開催することも検討します。

③全国へ、県全体への学びの視野を広げる

5月に沖縄で開催された「第18回中同協九州・沖縄ブロック役員研修交流」には3名が参加。大分同友会日田支部の「懇親会必須ではなく自由参加」方式が会員増に貢献した事例が、幹事会での参加報告で「懇親会強制感の解消につながる」と話題となり、飲み会が苦手な人や夜時間が取りづらい層が参加しやすい仕掛けを検討していくことになりました。また、この交流会では「企業変革支援プログラムVers 2」の活用をテーマとした学びあいもあり、活動づくりのヒントを得る場となりました。この交流会での学びは、参加者から参加レポートという形で、行けなかった会員にも共有されました。

今年度は青全交が宮崎開催ということもあり、前述のブレ報告例会をはじめ、会員・ゲストへの参加呼びかけも行い、県北支部から会員30名（参加率51.7%）が参加、ゲストも6名が参加し3名が入会と大成功に終わりました。

ここでの一つの学びは座長や室長をサポートする副室長（例会開催に慣れているベテラン）をサポートに入れることにより、初めての座長・室長でも協力して例会等を開催できることが証明できました。この発見は非常に良かったため、例会のあり方もこの方法での開催を検討する必要があると感じ、前述の1月例会や3月例会の例会づくりにいかされていきました。

宮崎南支部が中心となって設営した第33回みやぎき中小企業経営のフォーラムには、実行委員2名を送り出し、幹事会でサポートを行いました。おかげで会員参加24名、ゲスト参加者7名、会員企業5名の計36名の申し込みをいただき、目標達成率138.5%と目標を大きく上回ることで、多くの学びを得ることができた。県北支部会員がよびかけたフォーラム参加のゲスト7名のうち3名は県外から参加。ゲストのうち2名は入会につながりました。

■「増やす」：仲間づくりを振り返って

①広報・発信の強化について

今年度は例会などの活動SNSで発信しました。報告後もSNSで発信してどのような例会だったかも発信しました。ただ強化まではいかなかったため強化の方法を検討し、その情報の発信に努めていきます。

②県内での強固な組織づくりに専念する

今年度は延岡青年会議所の方々と交流会を開催することができました。青年会議所の方も同友会に大変興味を示してくれて、共に学ぶ仲間を増やすには手ごたえを感じました。来年度も他団体との交流を実施し、同友会の考え方を広め、会員増強につなげていきます。

退会については残念ながら退会率6.9%(4名)と5%以下に抑えることができませんでしたが、前期からの15.9%(10名)からは大きく減少しました。退会者の方はほとんどが女性経営者で、そのサポートができていなかったのが大きな反省点です。女性経営者が参加しやすい時間帯での活動づくり等も含めて再度検討し、辞めない県北支部づくりをめざしていきます。

③会員が参加したくなる活動の展開

今年度は例会のほかに6月には門川・日向地区と高千穂・延岡地区会を開催しました。そこで感じたことはそれぞれの近況報告を交えて交流することがとても良いということでした。お互いが何をして何に挑戦しているのか、何に悩んでいるのかを知ることにより、辞めない県北支部づくりにつながると感じました。

引き続き昼例会で参加しやすくするなどの開催方法や誘い方、小グループでの集まりなどで現在の会員をどう満足する方向で検討し、現在所属している会員が「一緒に勉強しよう！」と会員外の方にも自然に言える県北支部のあり方をさらに検討し実践していきます。

12月に新会員オリエンテーション&望年会を開催しました。オリエンテーションについては同友会の良さ等を伝え、同友会の学び方やどのような委員会などがあるのかを知ることができたのではないかと思います。

3月末には、昨年につづいて延岡市の城山公園で家族を交えての花見会(絆の会)を行いました。

今後も活動の参加率の向上や退会者を減らさない持続可能な支部運営を進めていきます。

■「つなぐ」：地域づくりを振り返って

①産官学金及び他団体との連携

今年度は産官学金との連携ができませんでした。この点もビジョン委員会(下記に記載)での議論のなかでどのようなあり方が必要かを再度検討し、中小企業振興条例と共に損制定に向けて取り組みを続けていきます。

②持続可能な組織運営に取り組む

前述した「第18回中同協 九州・沖縄ブロック役員研修交流」での「企業変革支援プログラムVer 2」をテーマとした宮城同友会の取り組みは、持続可能な組織運営という点でも大いに参考になりました。

③県北支部のビジョンを描く

今年度はビジョン準備委員会を立ち上げ11月から次年度のビジョン委員会の活動に向けて議論を行ってきました。こちらで県北支部のビジョンを持続可能な組織経営と共に考え、会活動が会員にとってかけがえのない活動、進んで参加したくなる例会等や座長などの役割、辞めない組織のあり方などを検討し、その普及につなげていきます。

■まとめ — 「強」から「増」へ

今年度は「学んで実践、自社の経営課題改善につながる同友会運動の支部づくり」というスローガンのもと例会や青全交を含めて、たくさんの学びの会を実施することができたと思います。県北支部では今の県北の会員さんをいかに満足させて学びを実践してもらうかを中心に活動を行ってきました。会員の「増」まではいきませんでした、「強」の部分での活動はできた1年となりました。実際退会率も少なくできました。

来年度は「強」の部分から「増」につながる会活動を進めていきたいと考えています。

＝ 2024年度(第30期)活動の記録 ＝

1. 支部会員数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月初会員数	58	58	58	56	56	56
入会数	0	1	0	0	0	0
退会数	0	1	2	0	0	0

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	56	56	57	58	58	58	
	0	1	2	0	0	1	5
	0	0	1	0	0	0	4

* 期末会員数59名

2. 支部総会・例会の開催

第30回定時総会&5月例会

5月16日(木) 日向市障がい者センターあいとびあて

21名(36.8%)

「企業づくり～同友会での私の学びと実践」

(株)中仙 代表取締役 中山章博氏

「仲間づくり～同友会での私の学びと実践」

(株)コノハナ 代表取締役 塩谷愛藍氏

「地域づくり～同友会での私の学びと実践」

(株)グローバル・クリーン 代表取締役 税田和久氏

7月例会

7月26日(金) ホテルベルフォート日向で 30名
 「人手不足をチャンスに、多様な社員の可能性と戦力化！～人を生かす経営の実践報告～」
 (株)ワタナベ美装 代表取締役 渡邊真規氏
 (京都同友会)
 内訳：会員19名(29.3%) + 他支部4名 + ゲスト1名 +
 会員企業5名 + 他県会員3名

8月例会その1 (青全交第16分科会プレ報告会)

8月23日(金) 延岡市中小企業振興センターで 20名
 『原因自分論』の実践で100年起企業をめざして～どんな荒波・逆風も、考え方を変えれば乗れる波・追い風になる～』
 (株)西郷組 代表取締役社長 西郷進平氏
 (鹿児島同友会)
 内訳：県北17名(29.3%) + 会員企業1名 + 他県会員2名

8月例会その2 (青全交第15分科会プレ報告会)

8月26日(月) 延岡市中小企業振興センターで 22名
 「地域の課題を取り込み、共に発展する企業へ～大牟田市の消滅可能性都市からの脱却～」
 大牟田ピンテージのまち(株)
 代表取締役 富山博史氏 (福岡同友会)
 内訳：会員10名(17.2%) + 他支部1名 + ゲスト7名 +
 他県会員4名

10月例会

10月25日(金) 日向商工会議所で 23名
 「300年以上続く置き葉ビジネスモデルへの原点回帰」
 (有)ツネザワ 代表取締役 経澤充氏
 内訳：会員19名(32.8%) + 他支部1名 + ゲスト3名

11月例会 (京都同友会山科支部との合同例会)

11月25日(月) 延岡市中小企業振興センター & Zoomで 15名
 ※京都で報告をZoomでつないで例会開催
 「自社の課題解決×地域とのつながり～Win×Winへの挑戦」
 パネリスト
 一般社団法人Solaco
 代表理事 三王寺慎太郎氏 (京都同友会)
 (株)アドバンス北陸サービス
 代表取締役 杉本健一氏 (石川同友会)
 (株)グローバル・クリーン 代表取締役 税田和久氏
 ファシリテーター
 (株)ワタナベ美装
 代表取締役 渡邊真規氏 (京都同友会)
 内訳：会員14名(25.0%) + ゲスト1名

1月例会

1月22日(水) ホテルベルフォート日向で 37名
 「俺のやっていることに文句があるか！～強い覚悟をもって自問自答の日々～」
 (株)伊東冷熱工業 代表取締役 伊東康弘氏
 内訳：会員23名(39.0%) + 他支部2名 + ゲスト10名 +
 会員企業2名

3月例会

3月24日(月) 延岡市中小企業振興センターで 33名
 「経営計画の重要性～事業拡大のなかで社員と共に育つ～」
 NPO法人あったかほーむ愛あい
 代表 横山美智子氏
 内訳：会員18名(30.5%) + 他支部5名 + ゲスト9名 +
 会員企業1名

2. 学習会・交流会等**地区会**

6月12日(水) 門川・日向地区会 笑満で 15名
 6月21日(金) 高千穂・延岡地区会 夜桜で 15名

財務勉強会2024

11月16日(土) 延岡市中小企業振興センターで 12名
 「決算書を活用しないともったいない！～決算書を最大限に活用しよう！～」
 講師 IGプレーン宮崎(株)
 代表取締役 直野祐樹氏
 内訳：7名(11.9%) + 他支部1名 + 会員企業3名 +
 ゲスト1名

望年会

12月17日(火) 日本料理高浜向で 19名(29.3%)

絆の会

3月30日(日) 延岡城跡・城山公園で 25名(家族を含む)

3. 新会員オリエンテーション、役員研修会**新会員オリエンテーション**

12月17日(火) 日本料理高浜で 19名
 「初めての同友会」 県北支部幹事 竹崎大祐氏
 (株)CMねっと 代表取締役
 「私と同友会」 (株)晴レル住建 代表取締役 酒井康氏
 内訳：新会員2名 + 役員他17名 + 他支部1名

春の役員研修会

3月10日(月) 延岡市中小企業振興センターで
 6名 + 人が育つ会社づくり推進協議会 2名

4. 経営指針学習会「柳会」

- 第0回 5月22日(水) NPO法人あったかほーむ愛あい
で 4名
テーマ：オリエンテーション
- 第1回 6月20日(水) NPO法人あったかほーむ愛あい
で 4名
テーマ：経営指針成文化と実践の手引き 1
章～2章
- 第2回 7月18日(水) NPO法人あったかほーむ愛あい
で 3名
テーマ：経営理念について
- 第3回 8月22日(水) NPO法人あったかほーむ愛あい
で 5名
テーマ：各社10年ビジョンについて、自社の
決算書を用いて経営者のための財務
講座
- 第4回 9月12日(水) NPO法人あったかほーむ愛あい
で 5名
テーマ：10年ビジョンについて
- 第5回 10月17日(水) NPO法人あったかほーむ愛あい
で 5名
テーマ：ビジョン交流及び方針説明
- 第6回 11月21日(水) NPO法人あったかほーむ愛あい
で 6名
テーマ：経営方針発表・意見交換
- 第7回 12月19日(水) NPO法人あったかほーむ愛あい
で 7名+ゲスト2名
テーマ：経営指針づくりの先輩が後輩に背中
を見せる
- 第8回 1月16日(水) NPO法人あったかほーむ愛あい
で 7名+会員企業1名
テーマ：単年度方針の説明とこれからのスケ
ジュール確認、経営指針の体系図説
明
- 第9回 2月20日(水) NPO法人あったかほーむ愛あい
で 8名+会員企業1名
テーマ：金丸、経澤氏の経営指針発表

5. 幹事会の記録

- 第1回 5月16日(水) 日向市障がい者セクターあいとびあで
出席：9名(100.0%) + 理事3名
- 第2回 6月6日(水) 延岡市中小企業振興センターで
出席：7名(77.80%) + 理事1名
- 第3回 7月3日(水) (株)グローバル・クリーンで
出席：8名(80.0%)
- 第4回 8月1日(水) (株)金丸慶藏商店で
出席：6名(66.7%) + 理事1名 + 青全交室長
2名

- 第5回 9月5日(水) 延岡市中小企業振興センターで
出席：7名(77.8%) + 理事1名
- 第6回 10月3日(水) (株)グローバル・クリーンで
出席：8名(88.9%) + 理事1名 + 青全交室長
1名
- 第7回 11月7日(水) 金丸慶藏商店で
出席：8名(88.9%) + 理事1名
- 第8回 12月5日(水) 延岡市中小企業振興センターで
出席：6名(66.9%) + 1月例会座長1名
- 第9回 2025年1月9日(水) (株)グローバル・クリーンで
出席：6名(66.7%) + 1月例会の座長と室長
2名
- 第10回 2月5日(水) 延岡市中小企業振興センターで
出席：6名(66.7%) + 1月例会の座長と室長
2名
- 第11回 3月5日(水) (株)グローバル・クリーンで
出席：7名(77.8%) + 次期幹事予定者1名 +
3月例会 座長1名
- 第12回 4月3日(水) 延岡市中小企業振興センターで
出席：5名(55.6%) + 次期幹事予定者2名
- 第13回 5月7日(水) (株)コダマで
出席：7名(77.8%) + 次期幹事予定者2名 +
6月例会室長 + 7月例会座長

第2号議案

2025年度(第31期)の活動方針

活動スローガン

**自社、そして地域の未来を見据えた「学びの場
づくり」を通して経営交流を図ろう！**

本年度県北支部ではビジョン委員会を発足し、10年後の未
来を見据えた「県北支部10年ビジョン」を作成します。

2027年のみやざき中小企業経営フォーラムを県北支部管内
で開催すべく、そのための仲間づくり・組織づくりを意識し
た活動を本年度から行っていきます。その柱として例会回数を
年間9回とし、例会づくりを通して会員間の絆を深め、顔
を合わせて経営交流を図る機会を増やしていきます。ほかに
も懇親の場としての「絆の会」、財務や労務を深める学習会
の開催を通して絆と学びを深めていきます。

1. 『例会づくり』

「企業変革支援プログラムVer. 2」を題材にした例会
を7回、「人が育つ会社づくり」を題材にした例会を1回
(5月例会)、過去3期継続している多様性をテーマにした
DE&I例会を1回(3月)、合計9回の例会を開催しま

す。

例会準備は担当幹事と座長を中心に4か月前から開始し、3か月前から本格的に幹事会にて例会内容について協議を行うようにします。例会当日のみならず、報告者の会社へのベンチマークの機会やミニ報告会の開催などを意識的に設け、会員がより深く学び、経営交流を図れる機会を拡げていきます。また、新会員さんや会歴の浅い会員さんにも例会づくりの役割（座長・報告者・室長・グループ長）を引き受けてもらい、経営者として成長する機会を提供します。

例会は、原則として毎月第3木曜日に開催とし、会員参加率40%を達成するために、例会の開催日は支部の年間活動計画（34頁）に明記し、参加予定が立てやすくなるよう工夫します。

また、昨年度ゲストを多くあつめた「昼例会」を昨年度から1回増やし、9月と3月に開催します。

2. 「強くなる」企業づくりの活動

①経営指針成文化の実践、経営基盤の強化

支部独自の経営指針作成勉強会「柳会」を本年度も開催します。また、経営指針委員会が開催する「経営指針をつくる会」への参加、共同求人委員会による共同求人活動への参加も支部会員に促します。

11月に財務学習会を、1月に労務学習会を開催し、会員の経営基盤の強化を図ります。また、3か月に一度の宮崎同友会景況調査については回答率50%をめざします。

②地域に若者を残す活動の推進

教育委員会やキャリア教育センター、委託団体・民間団体等と連携・情報共有を行い、小中学生の職場体験、高校生・大学生などのインターンシップを積極的な受け入れを会員さんに推進していきます。

DE&I推進のために、特別支援学校との交流の機会も積極的に設け、「人間尊重の経営」の輪を支部活動から地域全体に拡げていきます。

③全国・支部外での学びの視野の拡大

全国行事や九州・沖縄ブロック行事への参加を会員さんへ促します。特にブロック役員研修会（5月26-27日、佐賀）、中同協定時総会（7月3-4日、神奈川）、女性経営者全国交流会（9月4-5日、東京）、青年経営者全国交流会（11月20-21日、香川）、中小企業問題全国研究集会（26年3月4-5日、岩手）については、それぞれ支部から3名以上の参加を目標に掲げ、全国での学びを自社の経営はもちろんのこと、支部運営にも活かしていくことをめざします。

本年度は、ひむか支部管内の高鍋町で「第34回みやざき中小企業経営フォーラム」が11月7日に開催されます。比較的参加しやすい場所での開催となりますので、2027年度フォーラムの県北支部管内での開催も見据えて積極的に

参加しましょう。また、他支部の例会への参加や、青年部会会員の青年部会行事への参加も促し、会員さんの学びの枠を拡げていきます。

3. 「増やす」仲間づくりの活動

県北支部では「丁寧につくりこまれた例会への参加呼びかけと、例会づくり・例会参加を通じた経営交流」を仲間づくり活動の柱とします。

①広報・発信の強化

県の広報委員会と連携し、例会や学習会の情報、会員さんの取り組みを、SNSやメディア、e-doyuなどを活用して積極的な情報発信を行います。

②強固な組織づくり

他団体所属の経営者の方々にも例会情報等を発信し、参加を促します。

県北支部では期末会員数62名（純増3名・退会者5%以下）をめざします。

③会員が参加しなくなる活動の展開

本年度は新会員オリエンテーションを2回以上開催します。（現在、6月・9月に開催予定）

学びの場だけでなく、会員交流を目的とした絆の会を年2回（8月・3月予定）、望年会を開催します。

4. 「つなぐ」地域づくりの活動

①産学官金及び他団体との連携

産学官金との連携の機会を模索し、首長や行政との懇談会や勉強会の実施を目指します。また、政策委員会と連携し、中小企業振興条例について、行政や議会、経済団体と共に学ぶ機会をつくります。

②持続可能な組織運営

幹事以外の会員さんにも、座長・室長・報告者・グループ長等の役割を促し、例会づくりに参加してもらうことで支部運営に携わっていただき、さらには自主的な会活動への参加を促していきます。

幹事会は、支部活動において最大の学びの場であるべく、幹事会内で経営交流の場を意識的につくっていきます。主体的に会活動に関わる幹事の皆さんが期末に「よい経営者になった・よい会社になった・よい経営環境をつくれた」と思えることが大切です。そのような幹事の皆さんの姿をみて、会員さんが「わたしも幹事会に参加したい！」と思う幹事会を目指しましょう。

5. ビジョン委員会の立ち上げ

10年後の県北支部の「あるべき姿」を描くビジョンを、ビジョン委員会を中心に作成します。10年ビジョンに基づき、「よい会社をつくろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくろう」の体現者となる経営者、地域に根ざ

した持続可能な企業を増やします。

ビジョン委員会で作成したビジョンは、次年度の支部活動方針にしっかり反映させていきます。

また、ビジョン委員会では、毎回会員間で経営交流を行い、学び合いの場を意識的につくっていきます。また、

県北支部の10年ビジョンづくりを通して、参加会員が自社の10年ビジョンづくりを同時に学べる委員会にします。会歴や会内での役職、年齢に拘らず積極的に委員会に参加し、県北支部の未来を共に描きましょう。

■ 2025年度活動計画

スローガン **自社、そして地域の未来を見据えた「学びの場づくり」を通して経営交流を図ろう！**

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
幹事会 (第1火曜日)	3日(木)・延岡	7日(水)・日向	3日(火)・延岡	1日(火)・日向	5日(火)・延岡	2日(火)・日向		
支部活動	全 体	例 会 (第3木曜日)	支部総会&例会 21日(水)	例会17日(火)・延岡	例会17日(水)・日向	例会21日(水)・日向	例会18日(水)昼・延岡	
		報告者/例 中仙 中山氏	企業変革支援プログラムオリエンテーションとして 報告者/福岡同友会の 貞兼氏	I 経営者の責任 報告者/例 マルイチ 高木氏	II 経営理念を 実践する過程	III 人を生かす 経営の実践		
		担当幹事	塩谷	金井	児玉	吉岡(大)	中山	
		地域づくり						
		経営指針	「柳会」5期の開催	第0講 15日	第1講 12日	第2講 10日	第3講 7日	第4講 11日
		勉強会						
ビジョン づくり								
会員増強・オリ エンテーション			24日(火)新会員オリ エンテーション 担当: 金丸		絆の会 担当: 黒木	18日(水)新会員 オリエンテーション		
県の活動	25日(金) 定時総会							
全国行事		九プロ役員研修会 (佐賀) 26日(月)~27日(火)	共同求人・社員教育 活動全国交流会 (札幌) 17日(火)~18日(水)	全国総会(神奈川) 3日(水)~4日(金)	組織強化増強交流会 (Zoom) 6日(水) 経営労働問題全国交 流会(茨城) 28日(水)~29日(金)	女性経営者全国 交流会(東京) 4日(水)~5日(金)		

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
幹事会 (第1火曜日)	7日(火)・延岡	4日(火)・日向	2日(火)・延岡	8日(火)・日向	3日(火)・延岡	3日(火)		
支部活動	全 体	例 会 (第3木曜日)	例会16日(水)・延岡	例会18日(水)・日向 15時~ 喜重会館を予定		例会19日(水)・日向	例会19日(水)昼・延岡	
		IV 市場・顧客及び自 社の理解と対応状況	V 付加価値を高める	VI 企業の社会的責任	ダイバーシティ インクルージョン			
		担当幹事	直野	税田	田内	森		
		地域づくり						
		経営指針	第5講 9日	第6講 13日	第7講 11日	第8講 15日※変更	第9講 12日	第10講 12日
		勉強会		財務学習会 18日(火) 担当: 中山		労務学習会 15日(水) 担当: 中山		
ビジョン づくり								
会員増強・オリ エンテーション			望年会 18日 例会後 18時~20時			絆の会 担当: 黒木		
県の活動		第34回みやざき中小 企業経営フォーラム 7日(金)		新春経営者交流会				
全国行事	障害者問題全国交流 会(青森) 9日(水)~10日(金)	青年経営者全国交流 会(香川) 20日(水)~21日(金)				中小企業問題全国研 究集会(岩手) 5日(水)~6日(金)		

